

1 「学びの道しるべ」について

この冊子は、授業の計画と学習の取り組みのアドバイスを記したものです。具体的には、「教科のねらい」「年間学習計画・達成目標」「評価方法の一例」に加え、「授業への取り組みについて」「家庭学習の進め方について」「定期テストの取組について」などの項目を設けています。生徒は定期考査や単元テストなどが終了した後に、学習の取り組みを振り返り、より前向きに授業等に参加することができるよう作成したものです。

2 観点別評価について

学習指導要領の目標の実現状況を各観点ごとにA・B・Cの3段階で表します。

(1) 評価資料の例

それぞれの「評価の観点」ごとに、どのような内容の評価資料を扱うかは教科によって異なりますが、次のような資料が代表的なものです。

- ①家庭学習など個別学習の内容 ②授業中の取り組み姿勢 ③ノート、レポートの提出状況
 およびその内容 ④ワークシート・学習カードの提出状況およびその内容 ⑤小テスト・定期考査・実技テストの結果 ⑥課題作品の提出およびその状況 ⑦宿題の取組 ⑧発表や話し合いへの参加意欲や姿勢

(2) 「評価の観点」別に集めた資料を数量化し、その結果から達成率を算出します。

<例> ノート、レポートの提出状況 15回のうち12回の場合 達成率80%

<例> 小テストの合計点 300点のうち120点の場合 達成率40%

(3) 算出した達成率に基づいて、観点別の評価A・B・Cを決定します。

<観点別学習状況の評価の達成率の標準>

評価A	達成率が80%以上で、十分に満足していることを示します。
評価B	達成率が50%以上80%未満で、おおむね満足していることを示します。
評価C	達成率が50%未満で、努力が必要であることを示しています。

3 5段階評定について（評価から評定へ）

「評価の観点」別に算出したすべての評価を総括し、教科として達成率を算出します。こうして得られた達成値に基づいて5段階の評定を行います。

観点別学習状況の評価		評価の観点をすべて総括	評定に用いる達成値	評定	
十分に満足している (80%以上)	A		90%以上	十分に満足できるもののうち、特に程度の高いもの	5
		80%以上 90%未満	十分に満足できるもの	4	
おおむね満足している (50%以上)	B	50%以上 80%未満	おおむね満足できるもの	3	
		20%以上 50%未満	努力を要するもの	2	
努力を要する (50%未満)	C	20%未満	一層の努力を要するもの	1	

※観点別学習状況の評価と評定の関係

観点別学習状況の評価の達成値と評定に用いる達成値の関係を照らし合わせると次のような関係になります。

観点別評価が A A A ならば、評定は4または5になります。
 観点別評価が B B B ならば、評定は3になります。
 観点別評価が C C C ならば、評定は2または1になります。

4 評価の観点について

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
各教科等における学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況について評価をするとともに、それらを既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているかを評価する。	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかどうかを評価する。	知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価する。
<ul style="list-style-type: none"> ・数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。 	数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。

【中学校学習指導要領（平成29年度告示）】

1 教科の到達目標 (学習のねらい、身に付けたい力)

週3時間の希望制「習熟度別少人数クラス」を実施し、授業を行います。少人数を活かし、「数学の基礎学力の定着とよりきめ細かな指導」、「自分から進んで学習に打ち込む生徒の育成」を目指します。一人ひとりの生徒の実態に応じて、より細かな指導を行うことにより、全ての生徒が毎時間の授業で「分かった」という経験を実感して、学習効果とともに学習意欲の向上を図ります。また、通常の授業とは別に、放課後補充教室、夏季補充教室を通して、既習事項の確認、計算力の充実を図っていきます。知識・技能を身に付けると共に、自ら考え、判断・表現する力、さらに、それらを生かし、主体的に学習に取り組む態度を養っていくことも目標としていきます。年度当初は、昨年度の結果を参考に希望を出してもらいクラス編成を行います。単元終了ごとに、クラス変更の希望を受け付けます。

2 年間学習計画と単元の評価規準

学期	月	題材名・単元名	内 容	達成目標 (ねらい)
1	4	第1章 式の計算 1節 式の計算 (定期テスト) 2節 文字式の利用	◎同類項の意味と同類項をまとめる ◎式を加減法、多項式と数の乗除法 ◎単項式どうしの乗除法 ◎乗除の混じった単項式の計算 ◎文字を用いた式で、数量や数量の関係を表したり、説明したりする	・文字を用いた式に関するいろいろな用語の意味を理解し、正しく使える。 ・簡単な単項式、多項式での加法、減法、および、単項式どうしの乗法、除法の計算ができる。 ・目的に応じ簡単な等式を変形できる。
	5	第2章 連立方程式 1節 連立方程式 2節 連立方程式の利用 (定期テスト)	◎二元一次方程式とその解の意味 ◎加減法、代入法による連立方程式の解き方 ◎問題を解決するために、数量の関係をとらえ、見通しをもって連立方程式に表す ◎連立方程式を使って、問題を解決する	・連立二元一次方程式の必要性と意味とその解の意味を理解する。 ・連立二元一次方程式の解法を理解する ・問題解決の場面で連立二元一次方程式を活用することができる。
	6	第3章 一次関数 1節 一次関数 2節 一次関数と方程式 3節 一次関数の利用 (定期テスト)	◎一次関数の意味 ◎一次関数の値の変化、変化の割合の意味 ◎一次関数 $y=ax+b$ のグラフの意味 ◎傾きとグラフ上の1点の座標で式を求める ◎グラフ上の2点の座標から式を求める ◎方程式 $ax+by=c$ のグラフ ◎連立方程式の解とそのグラフの交点の座標との関係 ◎事象の中から一次関数を見だし、一次関数を用いて問題を解決する	・一次関数の意味を理解し、身の回りの事象の中から、一次関数とみられるものを見つけることができる。 ・一次関数の特徴を理解し、一次関数のグラフがかけられる。 ・直線が与えられているとき、その直線の式が求められる。 ・具体的な事象を一次関数とみなし、それを問題解決に利用できる。
2	7	第4章 図形の調べ方 1節 平行線と角 2節 三角形の合同 3節 証明 (定期テスト)	◎対頂角の性質 ◎平行線と同位角の関係 ◎平行線と錯角の関係、三角形の内角の和 ◎合同な図形の性質、三角形の合同条件 ◎証明の意味と必要性、仮定と結論の意味 ◎合同条件を使って簡単な図形の性質を証明する	・対頂角の性質、平行線と角の関係について調べる。 ・三角形の内角の和について調べる。 ・三角形の合同条件を明らかにする。 ・合同条件を根拠にした証明の進め方や図形の性質の調べ方について理解する。
	9	第5章 図形の性質と証明 1節 三角形 2節 四角形	◎二等辺三角形、正三角形、直角三角形の定義とその性質 ◎いろいろな四角形の定義とその性質、性質の証明 ◎平行線による等積変形 ◎等積変形を使った作図	・三角形の合同条件を使って、いろいろな三角形の性質を証明し、図形の性質の調べ方を理解する。 ・いろいろな四角形の性質や平行四辺形になる条件について理解する。 ・等積変形などについて理解する。
3	1	第6章 箱ひげ図とデータの活用 1節 データの散らばり 2節 データの傾向と調査 (定期テスト)	◎箱ひげ図や四分位範囲の必要性と意味 ◎四分位数や四分位範囲の求め方、箱ひげ図のかき方 ◎箱ひげ図の読み取り	・箱ひげ図や四分位範囲などを用いて、データの傾向をいろいろな視点で考察する。 ・複数の箱ひげ図を比較して、データの傾向をいろいろな視点で考察する。

3	2	第7章 確率 1節 確率	◎統計的な確率について、その意味を考える ◎同様に確からしいの意味と確率の求め方 ◎簡単な場合について確率を求めること	・確率の必要性と意味を理解し、簡単な場合の確率を求めることができる。 ・確率を用いて不確定な事象をとらえ説明することができるようにする。
		総復習		

3 評価方法

評価の観点	評価規準	評価方法
知識・技能	○言葉の意味を理解している。 ○定理・公式を理解し、利用した計算ができる。 ○例題の解き方を理解し、計算ができる。 ○法則を理解し、利用した計算ができる。	・定期テスト ・小テスト
思考・判断・表現	○既習の計算をもとにして、計算方法を考察し、説明することができる。 ○学習した事柄を具体的な場面で利用、説明することができる。 ○学習した事柄を相互に関連付けてみる可以尝试。	・定期テスト ・ワークシート、ノート ・テスト直しレポート ・単元レポート
主体的に学習に取り組む態度	○学習した事柄について、学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○学習した事柄を利用し、問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	・週末の宿題 ・問題集、ノート ・単元レポート ・テスト直しレポート

4 授業の取り組みについてのアドバイス

- ・積極的に自分の考えを他の人に発表していけるようにしましょう。友達の考えを聞き、自分の考えを伝えることで、考えを深め、記憶の定着にもつながります。
- ・授業ごとに内容理解の確認を行っていきます。始めの1分で前の時間にやったことが言える様に、毎時間の授業の復習をしっかりと行ってください。小單元ごとに小テストをします。細かな積み重ねをしていきましょう。
- ・定期考査後に「問題集」や「テスト直しレポート」を提出してもらいます。間違えた箇所や分からなかった箇所は、丁寧に解き直し、理解するまで学習しましょう。
- ・質問はいつでも受け付けます。積極的に質問をし、疑問を解決してください。
- ・「学びの足跡」を記入することで、自分の学習を振り返り、分からなかったこと、もっと知りたいことを明確にしていきましょう。
- ・単元の最後に、単元のまとめレポートをノートや「学びの足跡」をもとに作成します。裏には、学習した事柄でもっと知りたいことや興味をもったこと等をまとめていきましょう。

5 家庭学習の進め方についてのアドバイス

- ・宿題は必ずやりましょう。その際、分からなかったところは、そのままにせず、次の日に先生に聞いてください。
- ・問題集を購入します。授業でも取り扱っていきませんが、授業の進行に合わせて取り組んでください。また、期限を決めて提出を求めます。提出日に遅れないようにしましょう。
- ・授業が行われた日に必ず復習をしてください。教科書の例題や問を解いたり、問題集を利用するとよいでしょう。
- ・週末の宿題は、時間を計って取り組みましょう。終わったら、丸付けをして、次にやるべき、何に気を付けるべきかを振り返りの欄に書きましょう。

6 定期テストの取り組みについてのアドバイス

- ・まず教科書、授業で配布されたプリントやノートを見直しましょう。
- ・問題集のできなかつたところに付せん紙をつけ、テスト前までに分かるように繰り返し練習をしましょう。分からないところは、放課後補充教室や質問教室で聞いて、復習をしましょう。
- ・日々の努力が一番大切です。小さな積み重ねが大きな成果を生みます。

7 苦手な人の取り組みについてのアドバイス

- ・計算力を付けることが大切です。「問題集」や「教科書」を利用して、計算力をアップさせてください。できなかつた問題、間違えた問題は、正しく繰り返し練習することが大切です。
- ・理解できないことがあれば、すぐに質問に来てください。
- ・多くの問題に取り組み、慣れることが必要です。

令和6年度 学びの道しるべ <評価の観点・方法>

国語

評価の観点	評価規準	評価方法
知識・技能	社会生活に必要な国語について、その特質を理解し、適切に使うことができている。	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字テスト ・単元まとめテスト ・文法まとめテスト ・書写の作品提出
思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ○定期考査（3領域共通） <話すこと・聞くこと> <ul style="list-style-type: none"> ・スピーチや討論等・評価シート <書くこと> <ul style="list-style-type: none"> ・意見文、感想文、創作等 ・評価シート <読むこと> <ul style="list-style-type: none"> ・ノートの記述 ・ワークシート ・単元の小テスト
主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート ・ワークシート ・話し合い活動の記録

社会

各観点	評価規準	評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を適切に活用して、ワークシートに取り組んでいる。 ・テストにおいて資料から適切な解答ができている。 ・社会的事象についての理解を深め、知識を身に付けている。 ・テーマに沿ったレポートを作成できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・レポート作成 ・定期テストにおける資料読み取り問題
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマに沿ったレポートに自分の考えを表現することができる。 ・テストにおいて、記述問題に解答できている。 ・作成したレポートやスライドを簡潔にまとめ分かりやすく発表できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・レポート作成 ・定期テストにおける記述問題
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・予習、復習を含めた授業準備をし、授業に臨んでいる。 ・社会の動きを新聞やニュースなどから読み取り理解し関心をもっている。 ・作成したレポートやスライドに自らの意見や考えをまとめられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物（ノート、ワークなど） ・定期テスト ・レポート発表

数学

評価の観点	評価規準	評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 言葉の意味を理解している。 定理・公式を理解し、利用した計算ができる。 例題の解き方を理解し、計算ができる。 法則を理解し、利用した計算ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期テスト 小テスト
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 既習の計算をもとにして、計算方法を考察し、説明することができる。 学習した事柄を具体的な場面で利用、説明することができる。 学習した事柄を相互に関連付けてみるができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期テスト ワークシート、ノート テスト直しレポート 単元レポート
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 学習した事柄について、学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 学習した事柄を利用し、問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 週末の宿題 問題集、ノート 単元レポート テスト直しレポート

理科

評価の観点	評価規準	評価方法
知識・技能	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付ける。また、観察実験の基本操作を習得し、過程や結果を的確に記録するなど、科学的に探究する技能の基礎を身に付ける。	<ul style="list-style-type: none"> 課題への取組 実験観察レポート 定期考査、小テスト
思考・判断・表現	自然の事物・現象の中に問題を見だし、目的意識をもって観察、実験などを行う。自然事象や観察実験の結果を分析して解釈し、表現できる。	<ul style="list-style-type: none"> 課題への取組 実験観察レポート 定期考査、小テスト
主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究する。自然事象を人間生活との関わりでみようとする。	<ul style="list-style-type: none"> 課題への取組 実験観察レポート 振り返りシート

英語

評価の観点	評価規準	評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 英語の単語や語句、文法など英語の特徴やきまりについての基本的な知識を身に付けている。(知識) 既習事項を用いて、コミュニケーションに支障がない程度に正確に話したり、書いたり、聞いたり、読んだりすることができる。(技能) 	<ul style="list-style-type: none"> 定期テスト 単語テスト 英文テスト リスニングテスト パフォーマンステスト(音読テスト、インタビューテスト、スピーチなど)
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝えあったりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期テスト リスニングテスト パフォーマンステスト(音読テスト、インタビューテスト、スピーチなど)
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解しようとしたりこれらを活用して積極的に表現しようとしたり、伝えあおうとしたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> パフォーマンステスト(音読テスト、インタビューテスト、スピーチなど) 授業中の観察、実技テスト中の観察、提出物

音楽

評価の観点	評価規準	評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解している。 ・正しい奏法で演奏することができる。 ・基本的な発声法で、豊かに声を響かせて歌うことができる。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業プリント ・実技テスト ・定期考査
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている8要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じている。 ・知識や技能を得たり生かしたりしながら歌唱や器楽表現を創意工夫している。 ・音楽を形づくっている8要素を知覚し、知覚したことを感じて、まとまりのある創作表現を創意工夫している。 ・楽曲の時代背景やその特徴をとらえ、音楽を自分なりに評価しながら、よさや美しさを味わって鑑賞している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業プリント ・実技テスト ・定期考査
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・音や音楽、音楽文化に興味を持ち、主体的、協働的に表現する活動に取り組んでいる。 ・主体的、協働的に音楽を鑑賞し、学習活動に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・提出物 ・授業プリント ・定期考査

保健体育

評価の観点	評価規準	評価方法
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・各領域における「運動の特性や成り立ち」、「技術(技)の名称や行い方」、「関連して高まる体力」、「伝統的な考え方」、「表現の仕方」などの知識習得、理解ができています。 ・各領域の基本的な技能や動きを身に付け、記録や技に挑戦し、簡易な試合や発表ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・学習ノート ・学習カード ・定期テスト ・小テスト ・レポート ・記録測定 ・技能テスト ・観察
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・学習した知識や技能を活用して、自己の課題に応じた解決ができる ・自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて考え、判断するとともに、他者に伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・出欠席状況 ・観察 ・学習ノート ・学習カード ・技能テスト ・小テスト ・レポート
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・各領域に自ら進んで取り組める。 ・公正に取り組むことができる。 ・ルールマナーを大切にしようとしている。 ・お互いに協力できている。 ・自分の役割を果たすことができている。 ・相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・出欠席状況 ・観察、授業態度、発言等 ・小テスト ・学習ノート、カードなど提出物

美術

評価の観点	評価規準	評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中に行うことに対しての知識を身に付けている。 ・制作用具の基本的な扱い方を理解し、正しく使って自分の思い通りの作品に仕上げることができる。 ・テーマの意味や素材の特徴を理解し、自分の作品に生かし仕上げることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アイデアスケッチ ・作品 ・ワークシート ・レポート ・定期テスト
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ものをよく見る力、気付き発見する力を身に付けることができる。 ・豊かな感情や考え、空想力や想像力を広げイメージすることができる。 ・新しいもの、斬新なもの、ユニークなものを考え出すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アイデアスケッチ ・作品 ・ワークシート ・定期テスト
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・より良いものを作り出そうとしている。 ・課題の理解から完成した作品まで、良い表現のため工夫や方法を導き出そうとしている。 ・自他の作品に愛着をもち大切にしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・作品 ・ワークシート ・提出物、忘れ物 ・定期テスト

技術科

評価の観点	評価規準	評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ものづくりやコンピュータの活用に必要な基礎的な技能を身に付け、その技能を安全で適切に活用しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品 ・観察 ・定期考査
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・生活と技術の関わりについて見直し、課題を見付けその解決を目指して自分なりに改良し応用、工夫について考えているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品 ・作業進度表 ・観察 ・定期考査
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ものづくりやコンピュータ活用に関する技術について関心をもち、生活を充実・向上するために進んで工夫し創造、実践しようとしているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・提出物 ・観察 ・定期考査

家庭科

評価の観点	評価規準	評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・実技テストにおいて安全と衛生に留意し、食品や調理用具の適切な取り扱いができる。 ・自分で考え手際よく丁寧に実習や実技テストができる。 ・生活に関する資料を活用した調べ学習に対し適切にまとめることができる。 ・定期テストの技能の問題に答えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト (知識の問題) ・作業の進度 ・作品の完成度 ・技能テスト ・定期テスト
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに学習したことを生かして生活の工夫を記述することができる。 ・献立づくりや宿題に課題をもって取り組み、ワークシートに記入できる。 ・定期テストの思考・判断・表現の問題に答えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの意見記述 ・献立作成 ・宿題の内容 ・定期テスト
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに学習した内容を記入している。 ・教科書、エプロンなどの忘れ物が無い。 ・宿題などの提出物を怠りなく出している。 ・授業（実習）に意欲的に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの記入 ・忘れ物、宿題等提出物 ・授業への取組